

お取引先の祝賀行事（式典）や結婚のお祝いに

お祝い電報 Q&A

代表者や役員の就任、結婚のお祝い、新社屋の落成やお披露目、創業〇周年、受賞報告など、お取引先の祝賀行事にお祝い電報を送る際の疑問にお答えします。

Q お祝い電報を送る場合は、いつまでに届くように申込みはよいのでしょうか？

A ● **式典や披露宴に送る場合**
開始時間前に会場に届くように、余裕を持って準備しましょう。

【開始時間が午前の場合】

前日に会場へ届くよう申込みます。ただし、前日が会場の休館日であったり、前日受取りができない会場もありますので、事前に会場にご確認いただくことをおすすめします。

【開始時間が午後の場合】

当日の午前中までに会場へ届くよう申込みます。

● **昇進・就任など式典を伴わない場合**
正式な辞令の発表後、なるべく早く届くように申込みます。

発表と就任に間が空く場合はそれぞれに送るとより印象が強まることでしょう。辞令発表後、お時間が経ってそれを知った場合などは、就任時に送っても構いません。

Q 結婚のお祝いに電報を送る場合は、受取人に新郎・新婦お二人の名前を書いても問題ありませんか？また新婦のお名前は旧姓と新姓のどちらがよいのでしょうか？

A 新郎・新婦お二人のお名前でも、どちらか一方のお名前でも、問題ありません。

また新婦のお名前は、結婚式や披露宴がある場合は旧姓が一般的ですが、新居などご自宅宛の場合は新姓とするよいでしょう。

Q お取引先に送る場合、役職によって台紙を変えた方がよいのでしょうか？

A ビジネスの場合は送る相手先、差出人の役職に応じてその役職に合った台紙をそれぞれに送るのがよいでしょう。

Q 結婚のお祝い電報で使ってはいけない言葉、失礼にあたる言葉はありますか？

A 別れ、不幸、不吉、死を連想させる言葉、再婚を連想させる重ね言葉は「忌み言葉」として失礼にあたりますので注意が必要です。

【夫婦別離を連想させる言葉】

別れる、切れる、離れる、帰る、終わる、破れる、割れる、去る、飽きる、捨てる、冷える、忙しい、壊れる、消える、降りる、枯れる、嫌う、薄い、疎遠、浅い、憂い、ほどける

【再婚を連想させる言葉、重ね言葉】

戻る、繰り返す、再び、再婚、再三、二度、更に、相次いで、度々、くれぐれも、皆々さま、かえすがえす、重々、いろいろ、またまた、しばしば、次々、わざわざ、たまたま、重ね重ね、いよいよ

【不幸・不吉・死を連想させる言葉】

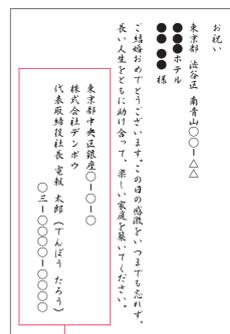
痛い、負ける、病む、病気、倒れる、倒産、流れる、滅ぶ、死ぬ、亡くなる、四、九、焦る、敗れる、散る、悲しむ、無くす、塩、シクラメン、シネマ、とんでもない

Q 差出人について（電報を送る方）の情報は、名前のみでよいのでしょうか？

A 差出人はフルネームとし、受取られた方がご連絡をなさる際にお手間とならないよう、ご自身の連絡先電話番号や住所を記載しましょう。

仕事上の付き合いの場合は会社名、役職、所属も合わせて記載するとよいでしょう。また、式典等で電報を披露される場合に、司会者の方が読みやすいようにお名前の後にふりがなを記載すると親切です。

毛筆縦書がおすすめです。横書（明朝体）に比べ、文字が大きいので読みやすく、丁寧な印象になります。



差出人情報

電報を送る前に、あらかじめ準備をしておくスムーズにお申込みができます。

事前準備

- 1…式典・結婚披露宴の日時
- 2…式典・結婚披露宴会場の住所、会場名「〇〇〇の間」など及び電話番号
- 3…電報を受取る方のお名前

- 電報を初めてご利用になる方、お相手の方に失礼のない文例かどうか不安な方は、電話で経験豊富なオペレーターと相談しながら、電報を申込みすることもできますので安心です。

